

北海学園大学

# 学生アルバイト白書

## 2013



川村雅則ゼミナール

2013年12月

## はじめに

今年も『北海学園大学 学生アルバイト白書』（以下、『白書2013』）の作成に取り組みました。『白書』づくりは今年で3年目です。

大学生活の少なからぬ部分がアルバイトに費やされています。近年は学費の捻出が厳しくなっているという事情もあり、学生がバイトに時間をさく傾向は強まっているようにも思われます（統計的に確認したわけではありませんが、学生と話していてそんな印象を受けます）。

学費問題はここではさておくとしても、問題は、アルバイト生活におけるワークルールの軽視です。すなわち、「定番」(?)の不払い労働にはじまり、仕事上のミスへのペナルティ、商品の買い取り・ノルマ、急な呼び出し・シフトの変更、長時間労働・残業、パワハラ・セクハラなどなど、こうした状況は、学生が取り組んだ今年の調査（とりわけ聞き取り調査）でも明らかです。

学生の多くは、大学入学後、ワークルールなどとくに知識も得ずにアルバイトを始めます。そして、上のような状況に直面しても、それが法律違反であるとは必ずしも自覚せずに、場合によっては、それが当たり前・仕方がないものだと思って働きます。そして、そのまま就活モードに突入し、就職をします。ワークルールの学ぶ機会が提供される必要があると思います。

そんなことを考え、今年も、学生アルバイト調査と『白書』づくりに取り組みました。調査は、アンケートと聞き取りで、後期（9月）に入ってから作業を開始しました。なので、例年以上に「突貫工事」でした。調査対象は、北海学園大学の学生です。有効回答はアンケートが213人、聞き取りが30人です。今年は聞き取りに力を入れました。

『白書2013』の構成は以下のとおりです。

はじめに	1
アンケート調査の結果	2
聞き取り調査の結果	8
まとめ	28

問題がわかったとしても、解決に向けた行動を始めるのは容易ではありません。ただこの『白書2013』を読むことが、いろいろな意味で、働くことを考えるきっかけになればと思います。

川村 雅則（北海学園大学・准教授）

# アンケート調査の結果

アンケートは、現在アルバイトをしているという北海学園大学の学生を対象に行いました。調査票は、サークルや部活を通じての配布、友人・知人への配布のほか、学校内でも配布してみました。400人に配布して213人から回答を得ました。今年はアンケート調査票の項目は少なくして、内容も簡易なものにしました。

## 1. 回答者の属性等

アンケート調査に回答してくれた学生（以下、回答者）213人の属性は以下の通

所属の部：「1部」193人 「2部」20人  
性別：「男子」142人 「女子」71人  
学年：「1年生」68人 「2年生」93人 「3年生」35人 「4年生」17人  
通学形態：「自宅（実家）から」171人 「自宅外から」42人

本学では昼間部（1部）と夜間部（2部）が設置されています。今回の調査の回答者は、調査票の配布ルートや時間帯の関係で、ほとんどが1部の学生でした。

学年は2年生が最も多かったです。調査を実施したのがゼミナールⅠの学生（2年生）だったことが影響しているかもしれません。

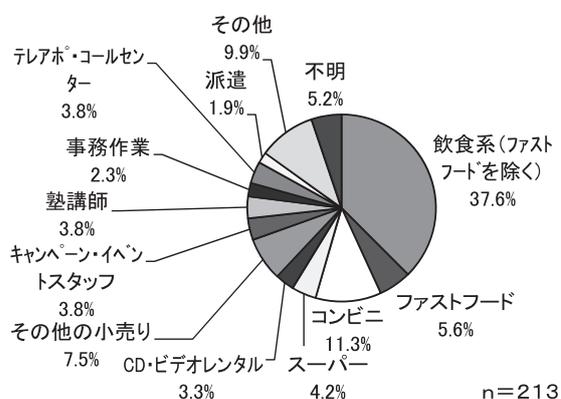
性別は男子が3分の2を占めました。そして、通学形態については実家からが8割でした。

## 2. 仕事内容、雇用契約

回答者はどんな仕事内容に従事しているのでしょうか。自由に記述してもらった仕事内容をこちらで分類した結果が図1

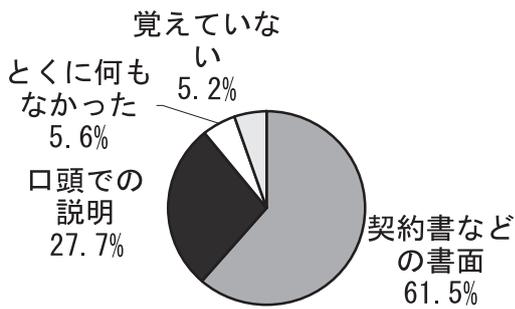
りです。なお、以下の各項目では、無回答を除いて計算をしているため、合計は必ずしも一致しません。

図1 回答者の仕事内容



です。最も多いのは飲食関係の仕事です（居酒屋、ファミレス、ファストフード、料理屋など）。「ファストフード」を除く「飲食系」だけで37.6%です（「ファストフード」もあわせると全体の4割超）。次いで多いのが「コンビニ」で1割強を占めます。

図2 雇用契約時の労働条件の提示状況



n = 213

次に、雇用契約時（面接時）に労働条件はどのように提示されたでしょうか（図2）。契約書などの書面が61.5%で最も多いものの、口頭での説明が27.7%、とくに何もなかったが5.6%、覚えていないが5.2%でした。

労働基準法でも労働契約法でも、基本的な労働条件は明示すること、となっています。

○労働基準法（労働条件の明示）第十五条 使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して賃金、労働時間その他の労働条件を明示しなければならない。この場合において、賃金及び労働時間に関する事項その他の厚生労働省令で定める事項については、厚生労働省令で定める方法により明示しなければならない。

○労働契約法（労働契約の内容の理解の促進）第四条 使用者は、労働者に提示する労働条件及び労働契約の内容について、労働者の理解を深めるようにするものとする。

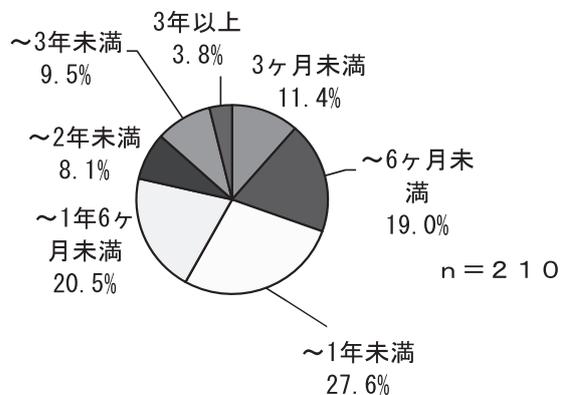
2 労働者及び使用者は、労働契約の内容（期間の定めのある労働契約に関する事項を含む。）について、できる限り書面により確認するものとする。

言った、言わないと、後々のトラブルにならないよう、働き始めるというのは、「契約」を結ぶことなのだ、という自覚をもって面接にのぞむことが必要だと思います。

### 3. 勤務期間、働き方

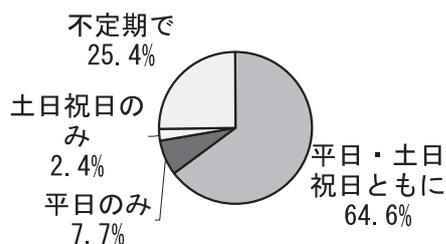
勤務期間をみると（図3）、3割（30.4%）は、まだ半年に満たないもの（「3ヶ月未満」から「6ヶ月未満」まで）です。その一方で、1年以上働いているもの（「1年以上1年6ヶ月未満」から「3年以上」まで）も4割超（41.9%）を占めます。では次に、働き方に関する結果をみていきましょう。調査では、少し細かく尋ねました（図4～図8）。

図3 勤務期間（勤続年数）



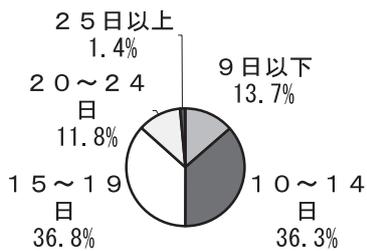
n = 210

図4 アルバイトの曜日



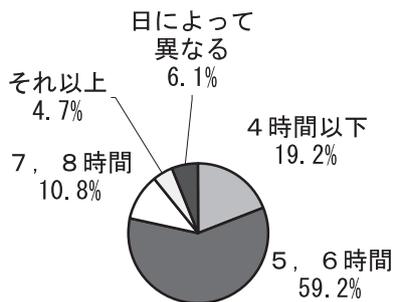
n = 209

図5 1ヶ月あたりの勤務日数



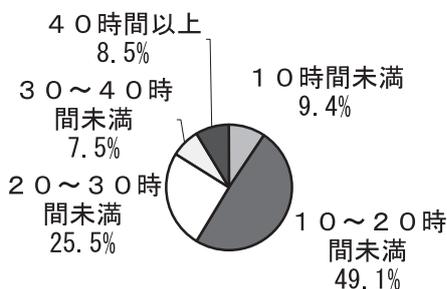
n = 212

図6 1日あたりの労働時間



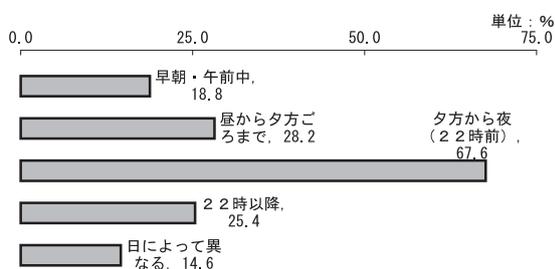
n = 203

図7 1週間あたりの労働時間



n = 212

図8 アルバイトの時間帯(複数回答可)



n = 213

第一に、働いている曜日は(図4)、「平日・土日祝日ともに」が最も多く、全体

の3分の2弱(64.6%)を占めました。

第二に、1ヶ月の勤務日数は(図5)、半月以上を働くもの(「15～19日」から「25日以上」まで)が全体の半数を占めています。日数だけみても結構なバイト量ではないでしょうか。

第三に、1日の労働時間は(図6)、6割(59.2%)が「5、6時間」と答えています。また「7、8時間」と「それ以上」を合わせると15.5%に達します。

第四に、週の労働時間は(図7)、「10～20時間未満」が半数(49.1%)を占めて最も多いものの、全体の4分の1は「20～30時間未満」、さらに30時間以上(「30～40時間未満」、「40時間以上」)も合計で16.0%を占めています。学業との兼ね合いが気になります。

最後に、働く時間帯を「複数回答可」で尋ねました。結果は(図8)、「夕方から夜(22時前)」が全体の3分の2(67.6%)で最も多かったものの、4分の1(25.4%)の回答者は、22時以降も働いています。

## 4. 賃金

アルバイトをする上で学生の関心の高い賃金についてみていきます。

まず、図は示していませんが、支払形態をみると、有効回答210人のうち、「時給制」がほとんど(97.6%)で、日給制はわずか5人(2.4%)でした。

では金額はどうでしょうか。「時給制」と回答したものに限定してみると(図9)、「720円未満」が14.8%です。調査を行った時点の最低賃金が719円なので、

図9 時給額

(時給制と回答したもののみ)

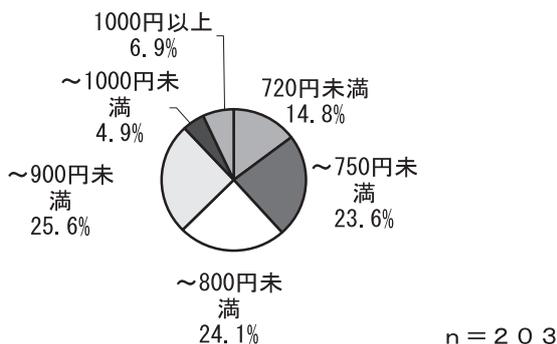


図11 妥当だと思う賃金額

(「満足していない」と回答したもの)

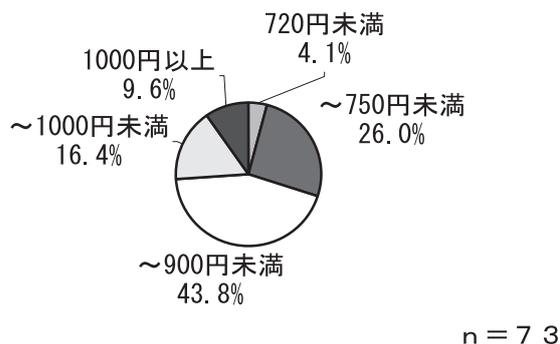


図10 1ヶ月の収入

(税込み。交通費は除く)

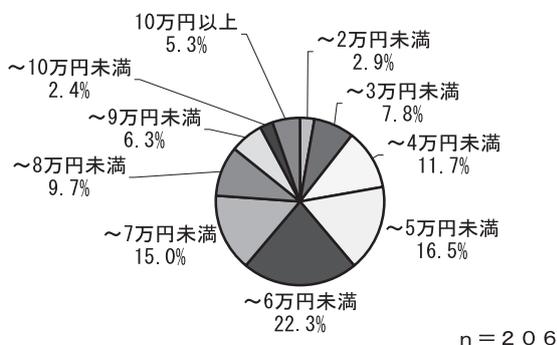
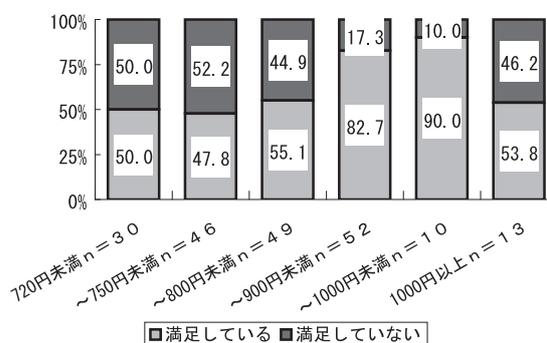


図12 時給額×満足状況



14.8%が最低賃金で働いていることになります。全体の6割超が800円に満たなく、平均額は791.6円でした。

ところで、「1000円以上」と回答した14人のうち8人は「塾講師」です。1時間あたりの時給額ではなく1コマあたりの金額が回答されている(言い換えれば、時給金額はもっと低くなる)可能性があります。この点は後でまたふれます。

1ヶ月の収入を1万円刻みで見ると(図10)、最多は「5~6万円未満」(22.3%)でした。全体の6割超が5万円以上を稼いでいます。

調査では、現在の賃金に満足しているかを尋ねてみました。有効回答は209人です。結果は、「満足している」が全体

の6割強(62.2%)で、残りの4割弱(37.8%)が「満足していない」でした。

では「満足していない」ものはどの程度が妥当だと考えているのでしょうか。彼らに妥当な金額を尋ねたところ、平均額は870.3円でした。ただし「塾講師」を除くと金額は下がり、817.4円になります。

次に、時給額と満足状況の関係はどうなっているのでしょうか。

結果は図12のとおりで、時給額の低い層ほど「満足していない」の割合が高く「満足している」と拮抗しています。今回は全体の6割強が「満足している」と回答していましたが、時給額の高い層を一定程度含んでいることが反映しているのかもしれませんが。

ところで、「1000円以上」群で「満足

していない」が多くなっています。なぜでしょうか。ここでも「塾講師」の回答が結果に反映されているようです。というのは、「1000円以上」と回答した14人のうち8人は「塾講師」で、8人中2人は「満足している」、5人は「満足していない」(1人は不明)と回答しています。先にも述べたとおり、1コマあたりの金額を回答している可能性や、時給額は相対的に高いけれども準備時間や授業時間外の拘束時間の長いことへの不満などが「満足していない」理由として考えられます。

## 5. アルバイトで経験した トラブルや不満

最後に、現在のアルバイトや過去のアルバイトで経験したトラブルや不満など

を聞いてみました。複数回答可の設問です(図13)。

まず、トラブルや不満が「ア. とくにない」と答えたのは全体の4分の1(24.9%)で、残りは何らかのトラブルや不満を経験したことになります。それはどんな内容でしょうか。

最も多いのは「エ. 人手が不足している」で全体の4割(40.7%)が回答しています。次いで「オ. 残業が多い」(22.0%)、「キ. 予定外の／急に出勤を要請される」「ニ. 仕事に関する説明が十分でない」(各18.7%)などでした。働き方に関するトラブルや不満が目立ちます。賃金関連(コ、サ、シ)も一定の割合で見られます。

ここで、人数が10人以上と比較的多い4職種(「飲食系」「ファストフード」「コンビニ」「その他の小売り」)を取りあげ、

図13 これまでに経験したトラブル、不満など(複数回答可)

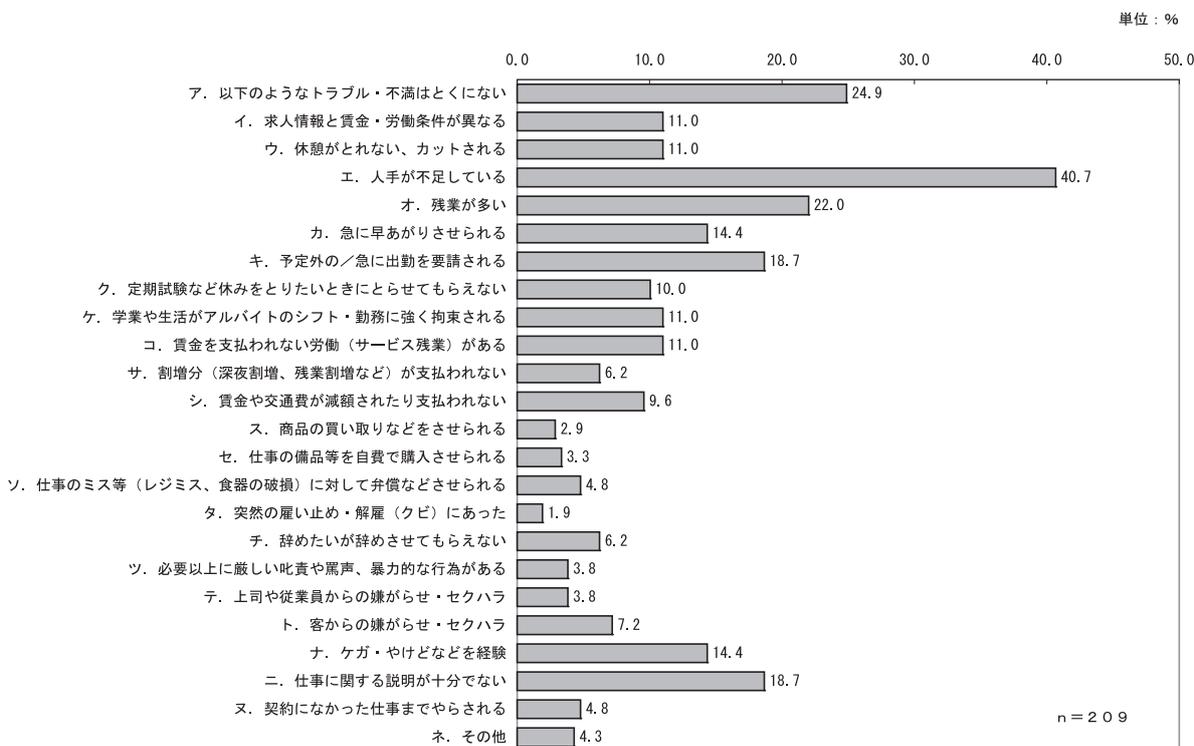


表1 職種別にみた、トラブル、不満など（主要4職種のみ）

	飲食系 (ファストフ ードを除く) n=79	ファスト フー ド n=12	コンビニ n=24	その他の 小売 り n=16
ア. 以下のようなトラブル・不満はとくにない	21.5	0.0	29.2	31.3
イ. 求人情報と賃金・労働条件が異なる	15.2	0.0	8.3	0.0
ウ. 休憩がとれない、カットされる	13.9	8.3	8.3	25.0
エ. 人手が不足している	49.4	66.7	41.7	31.3
オ. 残業が多い	20.3	33.3	16.7	18.8
カ. 急に早あがりさせられる	21.5	25.0	4.2	12.5
キ. 予定外の／急に出勤を要請される	25.3	16.7	25.0	6.3
ク. 定期試験など休みをとりたときにとらせてもらえない	11.4	0.0	20.8	6.3
ケ. 学業や生活がアルバイトのシフト・勤務に強く拘束される	12.7	0.0	20.8	0.0
コ. 賃金を支払われない労働（サービス残業）がある	13.9	8.3	12.5	6.3
サ. 割増分（深夜割増、残業割増など）が支払われない	8.9	8.3	4.2	0.0
シ. 賃金や交通費が減額されたり支払われない	8.9	8.3	8.3	6.3
ス. 商品の買い取りなどをさせられる	2.5	0.0	8.3	0.0
セ. 仕事の備品等を自費で購入させられる	2.5	0.0	4.2	6.3
ソ. 仕事のミス等(レジミス、食器の破損)に対して弁償などさせられる	3.8	0.0	20.8	0.0
タ. 突然の雇い止め・解雇(クビ)にあった	0.0	0.0	0.0	0.0
チ. 辞めたいが辞めさせてもらえない	6.3	0.0	12.5	0.0
ツ. 必要以上に厳しい叱責や罵声、暴力的な行為がある	6.3	0.0	4.2	6.3
テ. 上司や従業員からの嫌がらせ・セクハラ	3.8	8.3	4.2	6.3
ト. 客からの嫌がらせ・セクハラ	3.8	8.3	16.7	0.0
ナ. ケガ・やけどなどを経験	17.7	66.7	16.7	0.0
ニ. 仕事に関する説明が十分でない	17.7	33.3	20.8	25.0
ヌ. 契約になかった仕事までやられる	5.1	8.3	8.3	0.0

注：職種は現在のものだが、経験は過去のを含む点に注意。

こうしたトラブル経験をみてみましょう。ただし、第一に、現在の職種でのトラブル・不満とは限らないこと、第二に人数が「比較的多い」といっても「ファストフード」は12人、「その他の小売り」は16人であることから、参考資料としてみるにとどめてください。

結果は表1のとおりです。気になる箇所を太線で囲ってみました。

まず、人数の最も多い「飲食系」では、「エ. 人手が不足」が5割（49.4%）にまで達するほか、「キ. 予定外の／急に出勤を要請」も全体の4分の1を占めています。賃金関連（コ、サ、シ）も多いです。

次に人数の多い「コンビニ」では、

「ク. 定期試験など休みをとりたときにとらせてもらえない」「ケ. 学業や生活がアルバイトのシフト・勤務に強く拘束」のほか、「ソ. 仕事のミス等に対して弁償などさせられる」をそれぞれ全体の5分の1（20.8%）が訴えているのが特徴です。

そして人数は少ないですが、「ファストフード」では、トラブル・不満が「ア. とくにない」が0人で、「エ. 人手が不足」が全体の3分の2（66.7%）を占め、「オ. 残業が多い」も全体の3分の1（33.3%）を占めます。加えて「ナ. ケガ・やけどなどを経験」が全体の3分の2を占めていることも特徴です。

# 聞き取り調査の結果

30人分の聞き取り調査の結果です。現在のアルバイトあるいは過去のアルバイト体験について話を聞いて、1人ずつ結果をまとめました。全員が1部に所属する学生です。男女別・学年別の人数は、1年生：2人／2人、2年生18人／5人、3年生1人／2人と、男子の2年生が全体の6割を占めます。では結果をみていきましょう。

## 1. 浅井くん（男子・2年生）

僕は居酒屋でのバイトを始めて10か月になります。賃金は時給制で時給800円です。基本的に平日と土日の夕方から22時にかけて働いていて、1日の平均的な労働時間は5、6時間です。1か月に20日ほど働いています。労働契約書は見たことがありません。契約内容については口頭での説明でした。

居酒屋ではキッチンとホールの両方の仕事をしています。居酒屋は忙しくて特に団体さんが来たときは大変です。人手が足りなかった時期ではたくさんのお客さんがいるお店を3人でまわしていました。今は人手も足りていて前ほどは忙しくはありません。

職場にさほど不満はありませんが、以前は、お店から「明日ちょっと来れる？」と前日に急に出勤を要請されることはありました。でも用事があるときや休みたときはそれを伝えると無理を言われませんでした。なので、今の職場には特に問題ははありません。満足しています。

逆に、前のバイト先にはたくさん不満があります。今のバイト先とは大違いで

す。前のアルバイト先はラーメン屋さんで、あるとき、僕は少し遠出して遊ぶ予定で1週間ほど前から休みを取らせてもらっていましたが、でも遊びに行ったその帰り道に、「お前今日来れるか？」とアルバイト先から急な連絡が入りました。僕は疲れていたし、事前に休みを取っていたので、無理ですと断ったのですが、結局、半ば強制的に出勤することになりました。しかも連絡が入ったのは出勤のわずか3時間前です。

他にも、たまたま、22時以降にバイトに入ることが何度かあった月に、賃金に深夜割増がついていませんでした。店側に直接は言いづらかったので、請求はしませんでした。

一番嫌だったのが、僕の後から入ってきた正社員の人の存在でした。当時のアルバイトを辞めた理由もこの人の存在が大きく関係しています。彼は、アルバイトに対する指示などの言い方がきつくて、何か言われるたびに不快になりました。たしかに正社員のほうが立場は上ですが、だからといって乱暴な言葉遣いはやめてほしかったです。彼が入ってきてから店の雰囲気も壊れてしまい、僕はこ

の店を辞めることにしました。

## 2. 中村さん（女子・1年生）

私はドラッグストアでアルバイトをしています。働き始めて4か月ほどです。

仕事の内容はレジ打ちをしたり、商品を棚に陳列したりする一般的な仕事です。平日も土日も働いていて、夕方から21時ころまで仕事をしています。夜遅くなることはないのもそれほど辛くはないです。1日の労働時間は4時間以下がほとんどで、1週間でも20時間に満たない程度です。賃金は時給制で時給789円です。月に6万円ほどの収入になります。賃金にも満足していて、ここで働き続ける予定です。

アルバイトを始めたばかりのときは仕事の内容が全然わからなくて大変でした。仕事の内容は、ちゃんと説明してもらえるものだと思っていましたが、アルバイトの先輩が引き継ぎで軽く教えてくれる程度でした。正社員の人でも何人かはいませんが、「あれやっというて、これやっというて」などの指示を出すだけで、仕事に関する詳しい説明はしてもらえませんでした。

賃金について、「満足している」と言いましたが、残業代が支払われたことがありません。サービス残業って言うんですけど？いつもはだいたい21時で終わることが多いんですが、仕事が少し残っていて、その後も残業をすることが時々あります。でも、そうして残業をしてもなぜか残業代は支払われていません。正社員の人が残業代を貰っているかどうかはわかりません。[アルバイトでも

残業代を請求できることを伝え、店側に残業代について相談したことないか聞いてみたところ]アルバイトでも請求できるのは全然知りませんでした、そうなんですか。前々からちょっと疑問には思っていました。残業代のことは店側に聞いたことはありません。

## 3. 阿部くん（男子・2年生）

僕はホテルの宴会の料理運びやサービスのアルバイトをしています。

働き始めたきっかけは友達に誘われたからです。仕事を始めて1年と2か月になります。主な仕事内容は、会場の隣の部屋に宴会の卓数分の料理を運んだり取り分け用のお皿を用意したりすることです。

平日も土日も働いていて、時間帯は昼から夕方、夕方から22時前などです。1日の労働時間は5、6時間です。賃金は時給で750円です。仕事に入る日数自体は少ないので、月の収入は2万5千円くらいです。

職場の様子や人間関係は良好ですね。常勤の人が4人いてそのうち1人が正社員です。他に僕を含めてアルバイトが8人ほどいます。土日は宴会が4つとか入って忙しいですが、常勤の人と宴会の代表の人が計画を立てて、そこにアルバイトが3人くらいについて仕事を行うので、人手は問題ありません。

今のバイト先に不満は別にないですね。しいて言えば、別店舗のレストランが人手不足で手伝いによべられたときに何も説明なしのまま働かされたことです。

「え？」って感じで言葉づかいもわから

ないし、戸惑っていたら料理を運ぶだけで注文は取らなくていいと言われました。そのため注文をとる機械は渡されませんでした。でも忙しいときは結局メモ帳で注文を聞いて、あとから機械を持って人に伝えるということもありました。

残業はないです。早く帰りたいからみんなで頑張ろうという感じで働いています。逆に、交通手段がなくなるからといって早めに帰らせてもらえることもあります。

こんな感じで、人間関係も職場環境も良いので、これからもここでバイトを続けたいと思います。

#### 4. 竹内くん（男子・2年生）

僕は大学入学と同時に塾講師のアルバイトを始めました。

賃金は時給制ではなく、90分の授業1コマにつき1,500円という計算です。勤務は、平日は1日に2、3コマ、土曜日は6コマ入ります。後に「主任バイト」に昇進して1,680円になりました。収入は月にだいたい8～10万円です。塾の定休日である日曜日を除いて、月から土まで週6ミッチリ働いていました。

賃金に不満があります。コマ払いじゃなくて、時給1000円くらいじゃないと見合わないと思います。時給制じゃないから、残業代や深夜手当の概念がありません。なので、まず、出勤して授業の準備をします。生徒が来たら授業を行い、それが終わると後片付けや次の授業の準備などをしますが、賃金が発生しているのは授業をしている時間だけです。出勤したときに「日次手当」というものがつき

ますが、1日たったの400円で、はっきり言って、あってないようなものです。もちろん休日手当もありません。また、うちの塾は小学生から高校生まで教えていますが、どの層を教えていようと給料はみんな同じで、それにも納得がいきません。

大学の長期休暇期間中は、休みが全くありませんでした。毎日9～22時まで塾にこもって生徒に勉強を教えていました。家に帰宅するのが午前2時のときもありました。タクシー代などは当然出ないので、仕方なく自転車か歩きで帰宅していました。

塾で唯一の社員である室長は、何故かバイトよりも遅く出勤し、バイトよりも早く退勤していました。なので、塾の解錠、施錠をするのはバイトです。塾の決まりでは22時までに帰るということになっているけど、あまり守れませんでした。

「主任バイト」は他の「ヒラバイト」よりも休み希望が受理されにくく、テスト休みもとれません。逆に「なんで休むの？」と聞かれたこともありました。

また、固定の生徒が自分につくと他の人が教えるよりもやはり自分が教えたほうがいいので、僕は風邪をひいても休まず、風邪薬を飲んでマスクをして授業を行なったときもあります。血痰が出たこともあるけど、それでも休みませんでした。

結局、僕はこのバイトを1年と3ヶ月ぐらい続けました。バイト同士の人間関係が良かったのがまだ幸いで、もしも人間関係も悪かったらもっと早くに辞めていたと思います。

## 5. 木村さん（女子・3年生）

私は信販会社で働いています。サークルの先輩からの紹介です。サークルの友達（6. 今野さん）と2人で一緒に働き始めました。

時給は720円、16時以降は20円アップで、休日は819円でした。労働時間や賃金に問題や不満は特にありませんでしたが、とにかく職場の雰囲気や社員の態度が最悪でした。

私の業務は、お客様が組んだローンの結果を電話で知らせ、契約内容の確認をすることでした。しかし、研修期間1ヶ月が過ぎていないのに社員と同じような仕事をさせられて、この時点でこの職場の嫌な雰囲気を感じ取りました。社員は、教えていないことも当然のように要求してくるのです。そして、うまくできないと「早く覚えて」「できないの？」などときつく言われます。一番きつかったのはまだ仕事があるのに「帰っていいよ」と言われたことです。

とにかく、常に人手不足で、休み希望を出すと休む理由を必ず書かされます。すぐに辞めたい気持ちもありましたが、紹介してもらった先輩に悪いと感じ、なんとか粘ったものの、3カ月経って「もう辞めます」とついに言ってしまいました。

ところが、勇気を出して言ったにも関わらず、課長から「じゃあデータ入力の仕事をやらないかい」と言われ、すぐには辞めさせてもらえませんでした。よほど人が少なく、辞めてほしくなかったのでしょうか。離職率も高い職場だったと思

います。

今度はデータ入力の仕事になったものの、最初からこちらの業務をやっていた友達の様子だと、こちらも同じように大変そうでした。実際にやってみると、「私は事務作業が向いてない」ことを痛感しました。ただでさえ不向きな仕事を、やはりレベルの高い要求をされて疲れはててしまいました。他のバイトのミスも、社員に、自分のせいにされたこともありました。

嫌なことは沢山あったし、突然の契約社員切りも目にしました。黙って耐えましたが、そのうちに友達のほうが先に音を上げてしまったので、結局は、半年後に一緒に辞めました。

## 6. 今野さん（女子・3年生）

サークルの先輩の紹介で、信販会社のデータ入力の仕事をしていました。

時給は720円で、16時以降は20円アップで、休日は819円です。仕事の内容や負担からいうと、時給800円くらいは欲しかったです。

社員が厳しく、毎日怒られていました。教えてもらっていないことを「なんでこんなこともできないの?」と言われるのはしょっちゅうでした。「わからなかったら聞いてね」と言われていたのに、いざ聞きに行くと「今忙しいから」と後回しにされ、理不尽だと思いました。どうせそれができないと、またあとで文句を言われるんです。

入力作業にはスピードが求められますが、1箇所でもミスをするそれを修正するのに高額な費用がかかるらしいの

で、慎重にやっていると、今度は「遅い！」と容赦なく言われてしまい、早くやると間違えてまた怒られ、そしてまた慎重にゆっくりやると「遅い！」、この繰り返しです。どうすればいいんですか。

仕事内容で嘘をつかれました。電話業務はしなくていいよと言われていたのに、ある日突然電話をかけさせられたんです。電話対応なんて何も教えられていなかったんですよ。「かければいから」と言われ強引に電話をかけさせられましたが、相手の会社の言っていることが全然わからず、いちいち社員に聞きに行っているうちに相手に怒られてしまいました。何も教えていないアルバイトにやらせる、その神経がわかりません。

昼休みに、社員が他の社員やバイトの悪口を大声で言っているのが聞こえてくることもありました。ここまできると、そういう人ばかりいる職場なんだと実感しました。せめて人前では言わないとか、そういう配慮くらいして欲しかったです。

ある日、酷い腹痛で病院に行きました。胃カメラの検査をすると、胃が荒れていて、医者にはストレスのせいだと言われました。バイトの他にストレスが溜まることはしてなかったし、きっとそのせいだと確信を持ち、私と同様に苦しんでいた友達と一緒に辞めました。

## 7. 工藤さん（女子・2年生）

私がコンビニでアルバイトを始めて半年が経ちます。仕事内容はレジ業務や商品の陳列、店内の掃除です。どれも簡単な仕事に思われがちですが、スピードと正確さを一度に求められるので大変です。

平日と土日の、合わせて週3日働いています。17時から22時の5時間勤務がほとんどですが、土日は6、7時間勤務のときもあります。面接のときに週2日で働かせて欲しいと言ったのですが、初出勤の日に、働ける曜日を聞かれて答えると、「じゃあ週3日でもいいよね？」と言われました。同じ日から働き始めた人が断らなかったのも、週2日にして欲しいとは言えず、結局今でも週3日のままです。

固定シフトなので、予定があって休みたいときは、自分の代わりに出てくれる人を自分で見つけなければなりません。以前に代わりの人を見つけれなかったことがあって副店長に相談しましたが、「自分の責任だからね」と言われてしまい、とても困ったのを覚えています。固定シフトだという事は面接のときに説明されましたが、初めてのバイトだったので、固定シフトがこんなに大変だとは知りませんでした。次に働くなら絶対、変動シフトのお店が良いなと思っています。

副店長には勤務のたびに怒られていて、バックヤードに呼ばれて怒られるだけでなく、お客さんの前で怒られることもあります。人前で怒られるととても恥ずかしくて悔しいです。他の人が同じことをしてもそこまで怒られないので、私ばかりに厳しいのでは、と思うことも少なくありません。勿論優しく教えてくれる先輩もいますし、仕事の出来が悪い私にも責任はあると思いますが、辛いと感じない日はありません。

何故私が今でも辞めていないのかとい

うと、面接のときに、働き始めたら最低半年は辞められない契約だと言われたからです。そういう契約なら仕方がないのかなと思いつつ働き続けてきましたが、半年が経ちやっと辞められるようになったので、店長にその旨を伝えようと思っています。

## 8. 谷島くん (男子・1年生)

僕は居酒屋でホールスタッフとして働いています。働き始めて3か月ほど経ち、やっと仕事にも慣れてきました。仕事内容は注文を取ることを、料理を運ぶこと、それからドリンクを作ることです。

働き始めたきっかけは、サークルの先輩に誘われたからです。紹介だと面接で落とされることはないだろう、と誘いに乗りました。また、紹介料として、紹介した人とされた人に5000円ずつ支払われるというのも魅力でした。

居酒屋なので18時から働き始めますが、何時まで働くかは、お店の混み具合によって働いている最中に店長が決めます。なので、シフト表には出勤時間しか書かれていません。自分より早く退勤していく先輩を見るたびに、早く退勤時間を教えて欲しいなと思います。いつまで働けばいいのかがわかると、あと少しだから頑張ろうと思えるからです。

金曜日と土曜日は特に忙しくて大変です。お客さんの数が多いことも勿論ですが、忙しいと店長の機嫌が悪くなるので困っています。店長はキッチンで働いているのですが、料理が出来上がってすぐに取りに行かないと怒鳴られますし、酷いときではお盆をテーブルに投げつけた

りもします。店長に怒鳴られる度に、僕も心の中で怒鳴り返しています。

確かに料理を早く運ばなければならないのはわかっていますが、忙しいとお客さんに呼び止められることが多くなるので、それを無視することなんて出来ません。すごく理不尽だなと思いつつ働いています。

時給は750円で、昇給制度があります。昇給の時期を説明されたことはありませんが、おそらく会計を担当させてもらえるようになったらではないかと思っています。居酒屋なのでお客さんには酔っ払いもいますし、忙しいときは本当に大変なので、賃金を上げて欲しいなと思っています。

アルバイトの人も社員の人もどんどん辞めてしまって、今とても人手が不足しています。友人を勧誘していますが応じてくれる人がなかなかいません。

僕としては、男はどこまで頑張れるかやらなきゃいけないと思っているので、嫌なこともあります。辞める予定は今のところありません。

## 9. 福本さん (女子・2年生)

私はスーパーマーケットでレジ業務を担当しています。働き始めて1年が経ちましたが、まだまだミスはなくなりません。

シフトは平日だと5時間勤務で、土日だと5時間勤務か8時間勤務です。週に3日の契約だったはずが、「忙しい今だけだから」、「夏休みの間だけだから」と言われて週5、6日でシフトを入れられるようになり、結局、夏休みが終わって

からも週3日には戻っていません。アルバイトという立場上、強く言うことも出来ずに、そのまま働き続けていますが、不満を持ったまま働いているのでストレスが溜まっています。

夕方だとお客さんの数もあまり多くないので暇だと感じることも少なくありません。なので、時給は720円と最低賃金とほとんど変わりませんが、特に不満はありません。

ですが、パートの人とあまり上手くいっていないので精神的に疲れます。「若いのに仕事が出来ない」、「若いんだからそれ位出来るでしょ」とよく言われますが、年齢は関係ないのではといつも思います。夕方から夜にかけてのバイトなのですが、学生よりも年配のパートさんが多く、人付き合いが苦手な私にとっては少しきつい職場です。ミスなく働けるようになれば、怒られたり嫌味を言われたりすることもなくなるとは思いますが、なかなか上手くいきません。

今の職場を選んだのは、ただ単に家からすごく近かったからです。とても楽です。そこが一番の利点だと思っています。もし家から遠かったら、もっと早い時期に辞めていたと思います。

嫌だな、辞めたいなと思いつつも辞められず、ここまで来てしまいました。お金がないと自分の欲しい物も買えなくなってしまいますし、また他の場所でイチから仕事を覚えるのも大変だろうなと思うと、辞めようという決心がつきません。早く、怒られることなく仕事が出来ようになって、辞めたいなんて思わなくなりたいです。

## 10. 橋本くん (男子・2年生)

コンビニで働いています。賃金は719円、つまり最低賃金です。勤務時間は朝9時から午後13時30分までと、17、18時から21時までです。

仕事の内容は、レジと品出しなどコンビニの一般的な業務です。他のスタッフは学生、フリーター、主婦が多くを占めています。昇給は今のところなく、正月の期間に手当がついたぐらいです。

仕事で大変なのは、クレマーや酒に酔ったお客さんに対応しなければならないことです。あと、万引き犯に注意を払うことも苦労しています。

私の働いているコンビニでは、残業は当然するもの、という空気があり、定時には帰ることができません。フリーターの方が残業をして、8時間以上働いていることもあります。その空気に違和感を感じてはいますが、店に言い出すことができません。そして、多分、残業代は支払われていないと思います。

コンビニでは、正午と18時の時間帯が特に混雑するのですが、その時間帯に人が足りなくなり、普段は本部からの書類を整理している、「チーフ」という社員の人も、レジにまわらなくてはなりません。とにかく人手が足りていません。授業中に店長から電話がきて、仕方なく出勤することもありました。そして、正月など大学の長期休暇中には、1週間のほとんどをコンビニで働きました。テスト期間は休暇をもらったので、そこはよかったのですが。1週間程度で辞めていく人も少なくないので、後続のスタッフが

育ちません。

学校の講習などが始まり、私生活が忙しくなってきたので、店長にシフトを減らしたいと申し出たのですが、なぜか逆にシフトを増やされてしまい、わけが分かりません。1年近く働いていますが、そろそろ辞める予定です。

#### 11. 松本くん (男子・2年生)

私は個人経営の居酒屋で働いています。もう7ヶ月ほどになります。

賃金は時給800円で日払いです。勤務時間は17時から22時過ぎまでで、長いときは1時まで働いています。時間が延びたときは店の売りに応じて賃金を支払ってもらっています。仕事の内容は食器洗い、食品調理、接客などと、キッチンとホールの両方の業務をしています。

店主と、私を含むアルバイト2人の体制で仕事をしているのですが、2人で連絡してシフトを組むことになるので休みを取りたい日に取るのが難しく、まとまった休みも取りづらいです。そのため長期休暇に部活動の合宿にも行けず、テスト休みにもすべて休むというわけにもいきません。ですから、アルバイトをもう1人増やしてシフトを柔軟に組めるようにしてほしいと思っています。

辞めようかと思ったときが1度あります。それはお盆の時期の忙しさです。とにかく忙しく、「非現実的」な仕事量でした。2人体制の限界をさすがに感じました。

ただ、店が住宅街にあって、客層は高齢者や家族がだいたいを占めているので、お客さんとのトラブルもなく、この

仕事自体にはそれほど不満はありません。

以前、私はラーメン屋で働いていたのですが、そこでは人間関係が悪く、店長もあまり好きではありませんでした。私が入りたての頃、十分な仕事の説明もされていないにもかかわらず、「なんでもできないんだ」などと理不尽に叱責されることが多かったです。また、求人情報では17時から22時までの契約だったのですが、働き始めて少し経った頃には22時から翌日の4時までの夜勤に変えられそうにもなりました。

こうした経緯もあったので、このアルバイトは2か月で辞めました。

#### 12. 宮川くん (男子・2年生)

アルバイトをしようと思ったのは、自動車学校に通うためのお金が欲しかったからです。アルバイト情報誌をみて、自宅から近い飲食店で働き始めました。

仕事内容は様々ですが、大体は裏方の仕事・接客が多いです。

最初は、週3日で17～22時(時給800円)で働いていました。だけど、人手不足で、週6日働かされたり22時以降(時給1000円)も働かされるようになりました。お金が急いで欲しかったので、引き受けることにしましたが。

深夜帯で働くようになってから、講義が朝早い日は遅刻したり講義中に寝てしまうことがたまにあります。またアルバイトでは、急な出勤をさせられることも、度々あります。ただそれでも、同じくらいの年代が多い職場なので、その点は働きやすいです。

働き始めて困ったのは、入りたてなの

に仕事についての説明がなかったことです。初めてのアルバイトだったので、何をしてよいのかよくわかりませんでした。先輩などに聞いて、何とかりましたが、そのときはとてもつらかったです。

一番大変だったのは、休日の勤務です。飲食店ということもあって、家族連れが多く来ます。また、近くにイベント会場があり、イベントが終わった後にはお客さんが多くなります。結果、営業終了時刻までお客さんがいることになり、その後の掃除や片付けが深夜3時くらいになってしまうことも多々あります。22時を過ぎると、高校生がいなくなり、人手不足になってしまうのです。

22時以降の人手不足というこの点が一番の不満です。22時以降も働くのは構わないのですが、できればもう少し早く上がらせてもらいたいです。僕も学生なので、学業に支障が出ないようにしたいので。

ただ賃金もよく、かつ、人間関係がとてもよく、自宅からも近いので、できればここで長く働きたいと思っています。

### 13. 加藤くん（男子・2年生）

僕は、宴会場の設営・接客で1年半働いています。アルバイト先の場所が札幌駅近辺で、時給もよかったので、このアルバイトにしました。

だいたい、週3、4日、17~22時（時給840円）で働いていますが、年末や年度末の宴会が多くなるシーズンでは、急に出勤を要請されることが多いです。でも、テストなど用事があると伝えたら、ちゃんと聞いてもらえます。宴会がない

シーズンなど仕事が少ないときには、早あがりをさせられる場合があります。早く帰れて嬉しい側面もあるけれども、反面、給料が減ってしまうので、その点はつらいです。

急な出勤や早あがりは多いけれども、残業は1回もありません。アルバイトに対して、深夜帯の割増分を会社側が払いたくないので残業はさせていない、と聞いたことがあります。

ただその分、社員が夜遅くまで働いているらしいです。そのせいか、社員が多く辞めていくと聞きます。さらに言えば、社員だけではなくアルバイトも辞めていく人が多いです。辞めていく人は多いですが、その分、入ってくる人も多いので、人手不足というのはとくにないです。こういう自分のアルバイト先もブラック企業に入るんだろうなあと思います。

アルバイト・社員が入ったり辞めたりするのは個人の勝手ですが、その分、何回も、新しく入った人たちに仕事を教えなければならないことが、一番の不満です。仕事を教えながら自分の仕事もやらなければならないので、精神的にも肉体的にも疲れます。ただ、大学生など年齢の近い人たちが多く働いているので、その点はとても働きやすいです。

仕事も楽しいし、テストなどの用事があっても融通が利くから、できるだけ長く働きたいと思っています。

### 14. 原くん（男子・2年生）

私が居酒屋で働き始めたのは、去年の10月頃です。知人の紹介でした。研修期間がなくて、最初から時給800円も貰え

ました。基本は週4、5日で、夕方から夜22、23時までの勤務です。多少の残業があります。

月に3～5万程度貰っています。テスト休みなども取るので月の収入はこんなもんです。終電前にはあがれるし、平日、休日ともに4時間ほどの勤務時間なのでそれほど苦じゃないです。

仕事内容はほかの居酒屋と変わらないです。担当はホールで、接客して、ドリンクを作って、たまに客引きなんかもします。先輩も優しいのでのびのび仕事しています。でも不満はあります。

まず昇給制度がありません。アルバイトは一律800円です。居酒屋で初めから時給800円は十分ですけど、やっぱり長く働いてるともう少し欲しいなって気もします。

他にも、交通費や深夜割増がないのは残念ですね。冬は特に交通の面で大変です。夏は自転車なのでいいですけど、冬は地下鉄ですし、交通費がもったいないから歩く日もあります。

深夜割増のことはさすがに店長に相談しましたが、「うちブラック（会社）だからないんだよね～（笑）」みたいなことを言われて相手にもしてくれませんでした。飲食業界ではこういうのが当たり前なんですかね。

アルバイトで働き始めた人が2、3日で突然辞めたりすることはよくありますね。本当に困りますよ。人手不足で1人分の仕事量が多くなりますから。あと、客引きで警察に注意されたこともありました。でも店長に指示されたらやるしかないですよ。しかも1組連れてきたら

100円プラスされますからやるしかないです。

ちなみに一応、労働法についてもそんなに知っていますが、特に気にしたことはないです。細かいこと気にしていたら居酒屋で働けませんから。それにうちの店は髪の色も自由だし、ピアスをしていても何も言われません。働きやすさが優先だと私は思います。

## 15. 本間さん（女子・2年生）

焼肉店で働き始めて1年半になります。ちょっとした小遣い稼ぎが目的です。この店を選んだのは家から近かったからです。

最初は、週4日の勤務で1日4時間ほどでした。時給は最低賃金で深夜は50円アップ。それに能力給だったので働いていくうちに時給も少しずつ上がっていく仕組みでした。店長やバイトの先輩方も優しくてのびのび働くことができました。仕事内容は、接客やドリンク、デザートを作ることです。

でも夏休みに入った頃からおかしいなと思い始めました。週5、6日で働くことが当たり前のようになり、1日の勤務時間も、夏休みということで、8～10時間が多くなりました。長期休暇だからと思いきや我慢して働き続けました。夏休みが明けたらいつも通りのシフトに戻って思っていましたから。

でも現実はその簡単にはいかず、夏休み明けも、勤務は週5、6日で、平日は、夕方17時からラストの時間（24時頃）まで、休日は、夏休みと同じように8～10時間の勤務になりました。

このころから学業との両立が難しいと感じ始め、さすがにこれはまずいと、店長に相談し、出勤時間を30分遅らせてもらいましたが、その分だけ退勤時間が長くなり、残業も増えました。でも店長に「信頼しているから」、「ごめんな。どうしても人手が足りないんだ」と言われると、長時間勤務は辛いながらも、「気持ちに支えられないと、と頑張っけて働き続けていました。

私が働いて半年ぐらいて店長が変わりました。2人目の店長はとても人使いが荒いという噂があり、不安でした。案の定シフトがきつくなり、「希望休」もほとんど扱ってもらえず辛かったです。学業に専念するため、シフトを少し減らしてもらおうと相談しましたが、聞いてくれたのもその1週間だけで、その後、初めての12時間勤務も入れられました。他のアルバイトの人たちも、「仕事命」みたいな感じの人が多く、相談に乗ってくれなさそうだったので、我慢して働くしかありませんでした。

学校の課題も多く、休憩の時間を使って勉強していたら、「何勉強してるふりしてんの」などと店長に言われます。課題がたくさんあることを説明しても、「休みあげてるっしょ」と言われる始末。そろそろ我慢の限界です。

## 16. 芝田くん（男子・1年生）

居酒屋で働いています。働き始めて6ヶ月ぐらいです。人生初のバイトなので、新鮮な気持ちで楽しく働いています。

労働時間は平日8時間、休日10時間勤務です。とても長く思いますが、月15日

ほどの勤務なので学業に関してはまだ支障は出ていませんし、友達と遊ぶ時間も確保できます。それに時給は800円で、22時以降は1000円になるので、お金がすごい稼げます。昇給制度もあるのでモチベーションも維持できます。ちなみに月の手取りは8~10万円ほどです。

仕事内容は主に調理です。他の居酒屋とさほど変わりはありませんが、最初は皿洗いや簡単な仕込みなど未経験でもできる程度の業務です。忙しいときはホールに出て、接客もやります。厨房の社員の方たちに丁寧に教えてもらいながら少しずつ料理を覚えました。最近ではほとんどの料理を作ることができます。

ただ、予想以上の体力仕事です。ましてや火を扱う場所なので夏場などはサウナに入ってる感じで、汗が止まりません。金曜や土曜など忙しいときには、社員から理不尽なことで叱責を受けることもあります。怪我とかもよくします。なんせ揚げ物などを扱っているんで火傷もよくしますし、他にも包丁で指を切ったりとかよくあります。意外と怪我が多い現場です。

あとは退勤時間を過ぎても残って仕込み作業をします。そのときはタイムカードを切ってから作業するので、「無賃」です。先輩方もみんな残ってやりますから、一番下っ端の自分が先に帰れるわけありません。人間関係は良いほうなので嫌なわけではないですが、お金が発生しないのはどうかと思います。それに人手不足なので1人の仕事量は多いですし、厨房には新しいバイトもなかなか入ってきません。

メニューも季節ごとに変わるので覚えることも増えていきます。働いてまだ6ヶ月ですし、覚えなきゃいけない仕事もまだまだ多いです。学業との両立も難しくなっていくと思うので、がんばりたいと思います。

### 17. 緑川さん (女子・2年生)

食品スーパーマーケットで働いています。大きい会社なだけあって、面接時にはちゃんと説明してもらいましたし、そこで初めてアルバイトでも有給休暇がとれることを教わりました。ただ時給は最低賃金です。

勤務は、朝の6時頃から10時頃です。早起きで生活リズムも正しくなりますし、学業にも支障をきたすことはないです。仕事内容としては主に品出しや試食コーナー、たまにレジにも入ります。重いものを運ぶ時もあるので結構ハードですけど。

でもアルバイトやパートの人たちは仲がよくて、楽しく働いています。ちなみに、30代、40代のパートの方が多いです。大学生もそれなりにいますけど少ないです。

ただ、スーパーにはたくさんの部門があり、部門によってはトラブルがあります。特にひどいなあと思ったのは、青果部ですね。野菜果物の加工や品出し、商品番号を覚えたり、仕事がたくさんあります。力仕事もありますから女性にはきついかもしれません。仕事がなかなか覚えられなくてパートの人に怒られて泣いちゃう人とかもよくいるそうです。それで人が辞めていって常に人手不足で、こ

れじゃあ悪循環ですよ。新人が採用されないで、仕事に慣れている人が常に働き続けて休みがあまり取れないっていう話はよく聞きます。

アルバイトはこんな感じですけど、社員の人たちはもっと大変です。終業時刻の後に残って片付けをしたり、イベントのある時期にはその準備をしてから帰ります。この時間はタダ働きです。始業前にもこうした仕事があります。

これはバイトの人たちにも共通で、その日の出勤時間の30分ぐらい前から集まって働き始めます。タダ働きです。でも、こうでもしないと1日の仕事が終わらないので、仕方がないけどやるしかありません。

### 18. 横谷くん (男子・2年生)

私が初めてバイトを経験したのは去年の5月頃です。コンサートスタッフとしてライブなどの準備から撤去まで行う仕事でした。仕事は月に1、2回程度です。たまに大きなイベントがあるときはシャトルバスで現地に向かい24時間体制で働く場合もあります。短い時間ですが休憩はあります。

賃金は日給ではなく時給です。詳しくは分かりませんが、正直仕事の割に少ないです。それにチーフが指揮を執っているのですが、とてもだらけている人で、私が代わりにチーフの仕事を任されることもありました。アルバイト100人をひきいて撤去作業を行ったこともあります。なんとかやり遂げましたが、さすがにいきなりのことだったのでかなり不安でした。怪我人が出たら自分の責任です

からね。

不定期なコンサートスタッフだけでは、あまり稼げませんので、コールセンターで働き始めました。まず200時間の研修を受けました。丁寧に教えてもらえるので未経験でも安心でした。研修期間中は最低賃金です。

研修後、テストに合格してシフト制勤務に変わりました。時給は800円からスタートで、7時間から10時間の勤務を週5日程やっています。それに定期的に昇給テストみたいなのがあって、それに合格すれば時給が上がりますから結構がんばれます。

仕事内容は「受信」をやっていますが、とにかくストレスがものすごく溜まります。理不尽なこととか、ただの八つ当たりみたいなものもありますので、精神的にも肉体的にも辛いです。それにコールセンターというだけあって年末年始も休みはないし、ゴールデンウィークやお盆のような時期は特に忙しいです。おせちのクレーンなんてのも来ましたから。

ただ、人間関係のトラブルはまったくありません。他の所だと人間関係でギクシャクしているとかよく聞きますけど、その点に関しては働きやすいです。

### 19. 村瀬くん (男子・2年生)

居酒屋のホールで働いています。現在のバイトを始めて約2年になります。主な仕事内容は接客、ドリンクーです。時給780円で週5、6回、夕方18時から23時くらいまでで、お客さんが多くて混んでいても、終電に間に合うよう24時までには帰らしてもらえます。

給料は月にだいたい8~9万円もらっています。まかないもただで食べることができるので食費もういて、かなりお金を貯めることができています。先輩たちもやさしくて、人間がらみのもめごとでも今までなく、とてもいい環境だと思っていますが、悩みもあります。

それはテスト期間でも休みがとれないことです。面接のときには、テスト期間中1週間くらいは休みを与えると説明され、バイトをはじめて1年くらいはちゃんととらせてもらえたのに、現在では人手不足のためとらせてもらえません。「テスト休みをください」と言いたいのですが、店長がいい人なのでなかなか言い出せずにいます。

もう一つの不満は、時給は一緒なのに働いている量が人によって違うことです。僕は接客とドリンクーをしています。最近では接客はあまりせずに、ドリンクーをしています。接客は2人で担当するので時間帯によってはあまり忙しくない時間があります。ドリンクーは担当が1人なので常に働かなければなりません。それなのに時給が同じことが最近の不満です。

いろいろ愚痴を言いましたが、それでも今のバイトには満足しているので、卒業するまでやめることはないと思います。

### 20. 岡原くん (男子・3年生)

居酒屋のキッチンで働いています。仕事内容は、18時の開店にあわせて、それまでにお通しを盛ったり予約のお客さんには鍋をつくって出しておくこと、あとは、注文の通りに料理をつくることです。

料理はほとんどつくれるようになりました。

基本的に17時出勤で24時には帰れるのですが、金曜と土曜は店が結構混むので、終電までに帰ることができず、歩いて帰る日もよくあります。歩くと家まで40分くらいかかるので、欲を言うと混んでいても終電までには帰りたいです。

それと勤務時間が長いのが不満です。月に12万円程度稼いでいますが、バイトばかりでテスト勉強も疎かになってしまい、正直、単位が心配です。勉強だけでなくプライベートにも支障をきたしています。予約が急にたくさん入ると、出勤日でない日でも急にシフトに入れられるので、遊ぶ約束をしても断らざるをえません。

上下関係がはっきりしていて、バイト同士もあまり仲が良くありません。なので、バイトが楽しくありません。

最初はお客さんにおいしいものを食べてもらおうと思って作っていたのですが、いまではまるで「作業をしている」感じです。最近ではバイトをやめたくて仕方ありません。なにか理由をつけてやめようと思っていますが、なかなか言い出せずにいます。連絡をせずに急にやめる人がよくいるので、自分もそうやってバイトをばっくれようかなと何度も思いました。ただ、そろそろ始まる就活まではやめられないだろうなあと考えて働いています。

## 21. 湯澤くん (男子・2年生)

居酒屋で働いています。ホールです。バイトを始めて1年で、勤務は週5、6

回で、18時から23時の5時間です。時給は750円です。

働き始めてすぐに疑問や不満を感じました。先輩にまだ習っていないことを押し付けられたり、求人情報と条件が異なったからです。例えば、賄いが毎回でると求人情報には書いていたのに、いまだに1度も賄いを食べたことがありません。食べている人を見たこともないです。さらに、テスト期間に休みをもらえると書いていたのに、もらったことがありません。

それから、求人情報には時給800円と書いていたのに750円でした。仕事を覚え、今ではそれなりに仕事ができるようになったのに、時給は上がりません。友達とバイトの話をしていると、昇給があるという話も聞きます。不満です。

社員とバイトの関係もあまりよくありません。社員がバイトのことを下に見ている感じがあります。以前働いていたバイト先は、先輩と後輩の仲が良く、非常にいい関係で、居心地がよかったです。いまのバイト先には行く気があまりありません。

バイトを始めた当初は週3回ぐらいだったのが、最近では人手不足のため週5、6回くらいシフトを入れられ、自分のしたいことが全然できません。

バイト先を変えようと思っているのですが、またイチから仕事内容を覚えなければいけないし、今働いているバイト先のようにまた嫌な扱いを受けたらと思うと、次のバイトを探す気がなかなか起きません。いずれにせよ、近いうちに今の仕事はやめる予定です。

## 22. 世良くん（男子・2年生）

学生のアルバイトの調査ですか？私も結構大変な条件で働いているので、他の学生の状況にも関心があるし、調査に協力しますよ。

私は今、夕方から夜までコンビニで働いています。残業が多いとか条件がちゃんと説明されなかったとかそういうことはありません。仕事の内容も、普通のコンビニバイトと同じで、基本的な業務全般を担当しています。

私がいま一番不満に思っていることといますか、困っていることは、最近、店のスタッフが不足して、業務のほとんどはバイトでまわしています。なかには、時間的な余裕があまりないバイトもいるため、人員のやりくりが大変で、とても忙しい職場になっています。

コンビニのバイトですから、時給もあまり高くない、というかほぼ最低賃金ですね。ですから仕事の量と賃金水準のことを考えると、あまり割に合っていないと思います。

シフト表はイチオウは週ごとに決められていて、その点は問題ないのですが、急なシフト変更が頻繁にあって、あまり機能していないんです。たとえば、前日とか2日前とかに、シフトに入ってくれないかと急に言われたりして困っています。人手不足のため、スタッフ間でシフトの押し付け合い状態になってしまっています。

この現状を何とか改善して欲しい。やっぱりもう少しゆとりを持って働けたらな、と思っています。

## 23. 矢部くん（男子・2年生）

ファストフード店で、夕方から夜の時間帯で働いています。働き始めてもう1年くらい経ちます。平日土日に関わらず、週4日ほど勤務しています。

契約書はちゃんと渡されて、労働条件の説明はされました。社員は店長だけが正社員で、あとはバイトです。基本時給は700円台で、高いとは言えません。その割には多くの仕事を任せられて大変です。残業もあります。ただ、残業代はきちんと払われていますので、そこに関しては特に不満とかはないですね。

仕事上の不満で言うと、最近スタッフが若干不足していて、学生なのにシフトが多くなってしまっている点です。例えば週2日希望なのに、4日も勤務させられている学生がいます。それから、シフト表は週ごとに店長が作っているのですが、翌週のシフト表が、木曜日とか金曜日に発表されるので、個人的なスケジュールを立てにくく、勉強や私生活に影響がでてくるので、何とかしてほしいです。

休み希望は、決まった期限（何週間前）までであれば出すことができますが、人員不足なので、思うように休みは取れません。定期試験前にまとまった休みを取るのも難しいです。

新人の時の仕事の説明も若干足りない気がします。一応、最初に働き始めるときにオリエンテーションとして、店の運営方針や給与面の説明などと一緒に実際の業務についての説明もあって、最初の時期は「研修生」として多少のサポートはしてくれるんですが、説明不足な部分

も多いです。わからないことは他のスタッフに聞いて覚えてとは言われても、スタッフはみんな忙しそうなので、なかなか聞きづらく、どうすればいいのか困ることがありました。ですので、もう少し仕事の説明とかもしっかりしてほしいです。慣れないですぐ辞めちゃう人もいるので。

雇う側は、もっと学生の生活のことも気にかけてほしいです。

#### 24. 笹原さん（女子・1年生）

大学に入学してから半年近く、スーパーのレジ係としてアルバイトをしています。

週3日から4日ほどの勤務で、労働時間は週に20時間に満たない程度だと思います。時給は750円で、深夜割り増し分もちゃんと払われています。月で6万円くらい稼いでいますかね。労働条件は、きちんと契約書を渡されて説明されました。

ちゃんと把握しているわけではありませんが、おそらく正社員は店長と副店長くらいで、他のスタッフはみんな非正規だと思います。最近スタッフが何人か短期間にまとまって抜けてしまったため、その期間は、人手不足で忙しかったです。もう少し人員を増やして欲しいとは思いました。他は困ったことは特にありません。休み希望もきちんと通るし、時給に対する不満も、まあアルバイトだし、と考えればそんなにありません。

ただ、たまにですが残業があつて、時間的には長くてもせいぜい1時間くらいなのですが、残業代が出なくて…という

のは、社員の人から、学生だから夜遅くまで働いちゃいけない決まりだから、とかなんとか言われていて、学生の私は、タイムカードを先に切られた状態で働かされます。ですからそのぶんは、給料に反映されていません。これってサービス残業ですよ？こうして調査されるまで正直言つてあまり気にしていなかったです。

自分のアルバイト先には、不満やトラブルはないと思っていましたが、言われてみれば、これも労働法違反ってことなんですね。

#### 25. 竹越くん（男子・2年生）

ファストフード店の厨房で働いています。働き始めて11か月になります。自宅と学校の間にあつて通勤しやすいことから、今のバイト先を選びました。

月に15日ほどシフトが入っていて、1日平均で大体5、6時間ほど働きます。時間帯は、いつも学校帰りの夕方から夜にかけてです。

それなりに長く働いているのですが昇給の話などはなく、時給は働き始めてから一貫して最低賃金の719円に据え置きです。1か月の平均的な収入は4万8千円ほどです。個人的にはこの点が不満です。時給は、そうですね、780円くらいもらってもおかしくないのではと考えています。

最初に渡された契約書と今の仕事環境でとくに違いはないのですが、ただ、いくつか不満があります。

まず、任される仕事はどんどん増えていくのですが、新しい仕事に対する説明

が十分でないものですから、覚えるまでに時間がかかってしまいます。

また、職場の人員が不足していて、そのしわ寄せを僕らバイトが受けることがあります。具体的には、残業が多かったり、急に予定外のシフトを入れられたりするなどです。その逆に、急にバイトを早あがりさせられることもあります。こういう人手の配置には対策がとられないままです。

そのほかに個人的な不満としては、店員間でのコミュニケーション不足があげられます。社員の側からのコミュニケーションはなく、バイトの側から話を振ってもあまり続かず、職場はなんだかいつも空気が重く感じられます。全員がひたすら仕事に取り組む、と言うと聞こえがいいかもしれませんが、モチベーションも上がらず、仕事をするのが苦痛に感じられることがあります。

## 26. 長谷川くん（男子・2年生）

レンタルビデオ店でアルバイトをしています。職場が駅に近かったのと、あと、自分自身がCDなどレンタルする機会も多かったのも、特典もあるかなと思ってここをバイト先にしました。

まず仕事上よくあるトラブルから説明します。

DVDが見れない、CDが聞けない、中古のゲームソフトが動かない、という相談がよくあります。うちらに責任がなくてもそういう相談がくるんです。基本的にそういったクレームは上の人ではなく、現場で働いている人がその場で処理をします。対処法を上に見たりするの

は、ほんとに最初の頃だけで、働いているうちに対応できるようになります。慣れですね。マニュアルとかはないので、クレームを受けている人の対応を見て、勝手に自分で学んで処理をするようになります。

あと、最近だと携帯電話とカードも取り扱い始めましたので、負担が増えて大変です。バイトには「覚えてね」という事後報告的な感じですね。それに対してとくに何も言えないし、仕事の負担は増えても時給は変わりません。たまに店長に不満を言うことはあるんですけど、聞き入れてもらった記憶は一度もないです。

労働条件に関することと言えば、サービス残業が不満です。タイムカードは切っているけど働いている状態。具体的には、うちの店は、退勤時間になっても仕事が残っている場合には、翌朝の早番の人に残さないように遅番が処理してから帰るんです。でもタイムカードは通常通りに押してしまっているんで、給料はつきません。

もう一点は、人手不足です。人が足りていないにもかかわらず、人件費削減だからと、新人を雇わず、今のスタッフで仕事をまわしているんで負担です。扱う商品は増えているのに。

それから、人件費削減のため、見せかけで休憩を多くタイムカードで切られています。休憩に入ることは入るんですが、実際には、仕事をしています。例えば2人のうち1人が休憩に入ります。するとレジは1人で仕事から離れられない。でもその間も、裏で電話が鳴れば休憩に入っている人が電話対応をして、レ

ジが混んできたらレジ業務に入り、そんなことをしていたら休憩時間なんて終わっていますよ。

昇給はないです。契約の段階では、「昇給あり」と契約書に書いてあったのに時給は上がらないです。最低賃金が上がったら上がるくらいですね。家と職場の1駅分の交通費も出ないんですよ。契約書には交通費が支給と書いてあったと思うんですが。

いろいろ言いましたが、まずはサービス残業をなんとかして欲しいです。給料が発生するなら残業も文句は言いません。だけど、給料が発生しないのに夜遅くまで働くのは違うんじゃないのかな、と思います。

#### 27. 皆川くん (男子・2年生)

お土産屋さんでバイトをしています。友人の紹介です。働く時間とか場所など条件も自分にはあっていました。まあ、給料は最賃より少し上くらいですけどね。

労働条件の提示に関しては、契約の段階で内容をあまり聞いていなかったというか、まったく記憶にないです。バイトに受かることがまず第一だったので。契約書もあまり読まずにサインをしました。ただ、控えは一応もらっているから大丈夫だと思います。

職場の不満としては2つ。1つは、以前の店長は、「自分の店の商品の味を知ることは大事」と言って、廃棄の商品を無償で渡してくれる方でした。でも、今の新しい店長は、廃棄品に関しては、極力半額で買わせるようにしている。まあ、それでも安いのですが。

2つ目は、人が少ないことですね。忙しい時期はとくにそう感じます。それから遅番のときは私1人になるので、店長にもこの点は何度か言ってるんですが、改善はないです。日勤の人に残業が多いのもちょっと気になりますね。まあしっかり残業代は出ているんですが。

そうそう、私の職場は、バイトにはサービス残業はさせません。やったら逆に怒られるんですよ。以前に私がサービス残業になりそうになったとき、社員さんに「ダメだよそれ!」と言われました。ただ、社員さんはサービス残業ばかりなんですよ。

そんな感じなので、なんでもっと人を雇わないのかな、という疑問はありますね。もちろん、人を増やしたらその分だけ人件費はかかりますが。

#### 28. 横見くん (男子・2年生)

派遣会社に登録して働いています。仕事はいろいろです。モノを運ぶ仕事が多いですが、たまに接客もします。

派遣は何かと融通が利いて、好きな時間に好きなだけ働けるんですよ。まあ、ブラックなところに飛ばされることもあるにはありますが、でも、嫌だったら嫌って言って、他の職場に行けるので、非常に働きやすいし、学生向けだなと思っています。給料もいいですよ。

ただ、トラブルもありますね。まず、派遣会社自体に人が足りないせいなのか、連絡ミスなどトラブルがいろいろ発生するんですよ。そもそも派遣会社は、派遣先から仕事の依頼がまずあって、その電話を受けた社員が、じゃあ〇〇さん

はどこそこへ、と派遣社員に連絡をするのですが、私の会社はその連絡をメールではなく電話で行うことになっています。なので、連絡ミスが多すぎて、いざ仕事場に行ったら、3人集合のはずが私しかいなくて3人分の仕事をやらされた、ということもあります。もちろん、3人分働くというのはめったにないケースですが、連絡ミスで人が足りなかったことは珍しくないです。こういう連絡系のトラブルが多いですね。

仕事に関しての不満としては、まず残業代の取り扱いがあります。例えば、1日に二つの現場に行かされることがあるのですが、二つの現場を合計して8時間を超えて働いても残業代も何もないんですよ。残業代も無く合計で14時間も働いたこともあります。

あと、さっきの話とも関連しますが、派遣先からの連絡ミスなのか、派遣会社から言われたのと仕事内容が異なることがありますね。例えば事務所からは「物を運ぶ仕事」としか聞かされず、いざ現場に行ってみたら、物を運ぶ仕事ではあるんだけど、パシリをやらされたり、三角コーンの設置とか、遊び場の設置とか、なんのことはない、お祭りの設営をしていたんですよ。だったらそう説明してくれればいいのに。必要最低限のことだけで、具体的な話が伝えられないんですよ。だからもう逆にこっちで気を使って、何も言われなくても、滑り止めの軍手とタオルと水は必ず持っていくようにしています。

派遣の中ではこういうのは常識みたいですけども、とりあえず、最低限の連絡

ぐらいはしっかりしてほしいですね。

## 29. 高村さん（女子・2年生）

ファストフード店で1年と数ヶ月働いています。仕事は主にフロアとカウンターでの注文です。今の時給は719円です。

初めてのバイトだったので、マニュアルがしっかりしているところがいいと思い、ここを選びました。新人は、ビデオを使っていろいろと教わります。覚えることは多かったけれど、先輩もわかりやすく教えてくれました。

勤務は自由シフト制です。ただ最初、店が24時間営業であることをうっかり忘れていて、17時以降ならいつでも大丈夫、と書いたら、深夜に入れられてしまい、後悔しました。それ以降は注意して申請しています。

店は、働けば働くほど昇進していくというシステムが採用されていますが、トレーナーやそれよりも上の方が苦勞しているのを見ているので、私はクルーのままで働いていこうと思っています。

職場にはフリーターや主婦の方も多く働いています。働き方には温度差があって、主婦のまばらなシフトを、トレーナーをつとめるフリーターが埋める、といった形になっているようで、少し不満が出ているようです。私に何かしわ寄せがきているわけではありませんが。

ちなみに有給休暇をとれるのらしいですが、とっている人を一度も見たことがありません。私もとったことはありません。

バイト先での人間関係は基本的に良好です。同年代の子も多くて、友達が増え

るのはメリットだと思います。

ただ、客層はあまり上品ではありません。接客の際に嫌な思いをすることは多くあります。昼は、遅い！という苦情がよく入ります。以前に、1分間で商品を提供するというサービスを実施していたときは、本当に大変でした。

深夜の勤務は、うちの店舗では基本的に3人だけです。平日は比較的容易に店をまわせますが、土日や休みの前日だと、お客さんが多く入って大変です。そういった日は特に客層が悪く、酔っ払いのお客さんも来ます。

今の店で働き続けられるのは、人間関係の良さと、忙しさの加減のバランスかなと思っています。

### 30. 宋くん（男子・2年生）

バイキング方式の飲食店のホールスタッフで最近まで3ヶ月ほど働いていました。

バイキングなので、仕事は、ドリンクのオーダーとその運搬、卓の片付けとセットが主な仕事です。お酒も出しています。

時給は719円で、賃金が安いことのほかにも、労働条件にいろいろな疑問を感じました。

例えば求人広告では、16時から22時までの勤務と書かれていたにもかかわらず、初日から守られませんでした。社員や先輩から「帰っていいよ」と声がかかってから帰るというシステムで、いつ帰れるかも何をするかもわからず、先輩に

言われるまま動き、その日に帰れたのは24時近くになってからでした。自分から「帰りたいです」と言い出せる雰囲気ではありませんでした。

また、「タイムカード、切っておくね」と言って先輩がみんなの分をまとめて切っけてしまい、どの時間に自分の勤務が終わったのかわからずに仕事をあがった日もありました。

フルタイムの希望は出していないのに、土日にフルタイムの仕事が入られることもありました。休憩をはさむといっても、9時から24時までの立ち仕事はとてきつかったです。

また、給与明細といったものがありません。契約では交通費も出るようになっていたはずですが、給与とあわせて月末に振り込まれるだけで、内訳は一切わかりません。働き始めるときに、いろいろと書類にサインをし、捺印しましたが、それがどういったものなのか覚えていません。手元に控えもないです。確認しなかったのだから自分も悪いんだろうな、という気持ちもあります。

仕事がついので入れ替わりが激しく、同じ日にたしか4人ほど採用になりましたが、私以外はすぐに辞めていました。そういう感じで辞める人が多いので、「辞めたい」と私が切り出すとあっさり辞めることができました。

ここ以上に厳しいバイトはそうそうなさそうだと思うので、新しい場所では頑張れると思います。

## まとめ

最後に、今回の調査を通じて感じたことなどをまとめます。法律的な詳しい知識については『白書2011』『白書2012』を参照してください。

### ○学生バイトも労働者であるという自覚が大事

私たちは学生です。本業は学問です。でもアルバイトとして働くときは労働者です。仕事は適当にやっていいものではありません。アルバイトを辞めるときも一定のルールにのっとって辞める必要があります。アルバイトをしている以上、会社に雇われた労働者なのです。

それは言い換えれば、労働者の権利を持っているという意味でもあります。それを理解していない学生が多いように思われます。本来であれば、不当に解雇されたり賃金の不払いは許されることはありません。私たちにはそういう労働者の権利があることを知っておくべきだと思いました。

### ○ワークルールをしっかりと学ぶことが大事

アルバイトをする上で、ワークルールの知識を身に付けておくことが非常に重要です。少しでも知識があれば、自分の労働条件や職場環境に疑問を持つことが出来ると思います。「これっておかしいな」と気づけるかどうか肝心です。

例えば、現在の最低賃金がいくらかは、みなさん知っていると思います。それと同じように、「サービス残業（不払い労働）」は法律で禁止されていることや、

労働契約は労働者に書面で提示することが使用者に義務付けられていることなども、知っておく必要があります。調査結果を振り返りながら考えていきましょう。

### ・アルバイトの「入り口」から注意する

トラブルを未然に防ぐため、アルバイトを探す段階から自覚が必要です。例えば、常に求人募集しているところは、人が定着しない職場の可能性があります。

また、面接の時点で求人誌などと条件が異なっていた場合には、きちんと説明を求めましょう。あいまいにしないことが大事です。

ちなみに、今回の聞き取り調査でも、人手不足で週の労働日数が契約時より多くなってしまったケース／勤務時間帯や働き方（労働時間）を変更させられたケースなどがありました。

「希望していないのに…」といっても、そのことをきちんと口に出して言わなければ、合意・納得したと解釈されてしまいます。働くということはお互いに「契約」を結んでいるのだという自覚が必要です。この点に関連して、「労働契約法」を紹介しておきます。

### ・「労使対等原則」という考え方

労働契約の基本原則は、労働契約法に

よって以下のように定められています  
(厚生労働省ホームページより)。

- (1) 労使の対等の立場によること
- (2) 就業の実態に応じて、均衡を考慮すること
- (3) 仕事と生活の調和に配慮すること
- (4) 信義に従い誠実に行動しなければならない、権利を濫用してはならないこと

労働契約を結んだり変更する際には、こうした考えを基本に行う必要があります。とくにここでは(1)の労使対等原則という考えが重要だと思います。

もちろん、実際には働く側は立場が弱く、意見を主張しづらいのは言うまでもありません(この点で労働組合が重要になるのですが、省略します)。

ただ、法制度上はどのようなことが私たちに求められているかだけでも知ることが重要だと思います。

#### ・アルバイトと賃金

次はバイト学生の関心事でもある賃金です。今回の調査では、22時以降の勤務に深夜割増がまったく(一部だけしか)支給されていなかったケース/残業代が支払われていなかったケースなどがみられました。なかには深夜割増の支給を店長に直談判したのに相手にされなかったというケースもありました。

労働に対して賃金が支給されるのは当然のことですが、加えて、労働基準法は、時間外労働や深夜労働(22時~5時)、あるいは、法定の休日労働に対して、割

増賃金の支払いを使用者に義務づけています。具体的には、時間外や深夜は25%以上、休日労働には35%以上の割増賃金を支払わなければなりません(労働基準法第37条)。

こうした割増賃金は、長時間労働や深夜労働の抑制も目的としているのです。もちろんそれは、アルバイトとして働く私たちにも共通する考えです。

賃金の不払いをどう是正させるかは、私たちアルバイトだけでは難しく、行政機関や労働組合などにまずは相談してみるのがよいと思います。

その際に重要になるのが、自分がいつ働いたのか(不払いはどのくらいあるのか)をきちんとメモしておくことです。不払いを行う会社は、たいてい、労働時間の管理がいい加減になっていて、実際の労働時間を認めないことが少なくありません。そういうときに、メモはとても有効です。

ちなみに、賃金は1分単位で支払われるものであって、10分、15分程度だと支給されなくてもしょうがないのかなと思うのは間違いです。それに、ちりも積もれば山になるのです。

#### ・労働時間、働き方

さきほどの労働契約の箇所です。さきほどの労働契約の箇所で書いたことと一部重なりますが、今回の調査結果でみられた問題として、長期休暇中は休みがなくフル稼働というケース/残業が当然という風潮の職場で8時間以上働くケース/人手不足が原因で労働時間が延ばされるケース、などがあげられます。

労働時間に関する基本的なルールを述

べると、労働時間は1週間で40時間まで、1日で8時間まで、という原則が決められています。

この時間を超えて働かせたり、休日に働かせる場合には、労使で協定を結び、労働基準監督署に届け出ていなければなりません（通称、36協定）。また、6時間を超える場合は45分以上、8時間を超える場合は1時間以上の休憩が必要とされています。

ただ問題は、働く側がこうした法律的な知識をしっかりとっていない点もさることながら、長時間労働（勤務シフト増）や残業の要請をことわることができないという点にあるのではないかと思います。授業中に出勤を要請されて応じざるを得なかったなどの話もよく聞きます。

本業は学業であることを忘れず、自分の考えをきちんと使用者側に伝える、また、それでも不本意な働き方を依頼される場合には、アルバイトを辞めることも選択肢に入れるべきではないでしょうか。

#### ・人間関係をめぐるトラブル

今回の調査ではこんな問題がみられました。説明不十分なまま仕事をさせられ、間違えると怒られるというケース／社員・上司から悪口や嫌味を言われたり、必要以上に厳しい口調で指示される・怒鳴られるケースなど。

職場の人間関係は、学生バイトに限らず深刻な問題のようです。労使は対等な立場にある、とさきほど述べましたが、建て前ではそうであっても、現実の職場ではそうではありません。

また、こうした状況は、今日の職場の人手不足を反映しているのではないかと思います。店長や社員自身も仕事やノルマに追われているのではないのでしょうか（もちろん、だからといって、理不尽なふるまいが許されるわけではありません）。

ところで、職場の人間関係だけではなく、学生バイトには、「接客」という仕事が多いので、客・利用者に暴言や暴力をふるわれたりセクハラをうけるという問題もみられ、この点は軽視できません。

こうしたパワハラ、セクハラには法律的な対応ももちろん必要ですが、まずは急いで誰かに相談してください。雇われている立場だからといって何でも我慢しなければならないわけではありません。一般常識で考えることが重要です。

#### ○あきらめてしまわずに、誰かに相談する

賃金・労働条件に疑問を感じたり、仕事で困ったときには、そのままにしたり自分が悪いんだと思い込まずに、職場の先輩や同じ学生バイトに相談してみましょう。もしかしたら、同じ悩みを抱えているかもしれません。であれば問題は、あなた自身にあるのではなく、職場にある可能性が高いです。一緒に問題解決をしていけるかもしれません。

もちろん、とはいえ、いくら法律の勉強をしたとしても、学生の力だけでは問題解決は難しいでしょう。労働相談にのってくれる行政機関や労働組合の力を借りることも有効ではないでしょうか。

労働者の権利を守る組織として労働組合があるのはみなさんも学校で習ったと

思います。とはいえ、学生にとって労働組合はハードルが高い存在です。私たちも実際そう思っていました。

でも、今回の取り組みで私たちは、「道労連」「札幌地域労組」という労働組合の方々から話を聞く機会があつて、その印象が変わりました。労働組合は、日常的に相談を受け付けていて、しかも個人

で加入できる労働組合もあるのだそうです。労働組合の全てが「企業別組合（企業ごとに組織されて、主に正社員だけが加入できる組合）」ではないのです。

一人で悩まず、電話やメールで相談してみてもどうでしょうか。きっと親身に対応してくださると思います。

## 編集後記

- 毎年のことではありますが疲れます。調査活動もたいへんだけれども、白書づくりは輪をかけてたいへんです。来年度こそは、編集作業まで学生に任せてみたいものです。ともあれ、学生諸君、お疲れさまでした。
- 今年度は、公開授業で、このアルバイト調査の結果を学生自身に報告させてみました。タイトルは、「これでいいのか、学生バイト!! 大学生のアルバイトを考える」です。学生にはよい経験になったでしょうか。来年度もいろいろなことに挑戦してみます。



写真提供：株式会社ラボット

### ●ゼミナール | 履修生

川畑 勇人、笹 友理、眞田 英幸、千葉 弓愛、成田左都士  
能登屋 純、藤原 良太、宮下 雄一、小泉 陽平、石川 圭吾  
河端 由実、須賀川 肇、渡邊 弘夢

北海学園大学  
**学生アルバイト白書**  
**2013**

2013年12月発行

川村雅則ゼミナール

連絡先

TEL 011-841-1161(内2744)

[masanori@econ.hokkai-s-u.ac.jp](mailto:masanori@econ.hokkai-s-u.ac.jp)